

79期 3月 重大事故 1件

作成日：2024年4月11日  
安全品質環境推進部 統括グループ

再発防止対策欄/青地・・・対策完了 赤字・・・対策予定、継続中

区分	事故受付№	事故発生日	発生時間		地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度 ・品名	休業見込 (休業日)	荷主・相手方		事故内容	
			名称	本・支店、工場												
1	17900463	2024/3/29	金	午前 12:00	北信越			興務	46	3年 4ヶ月	頭蓋・鎖骨・肋骨・背骨の骨折、頭蓋内出血	180日		-	男	業務員が大和物流（株）にてベニヤを積み荷締め中に製品段差を西そうとして、飛び上がったがウイング天井に頭をぶつけ着地した時にバランスを崩し荷台製品上（2.3mくらい）から落下し負傷した。
	確認日	2024/4/8	月	確認者 (安全)			発生要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安全作業に必要なチェック（車止めや保護帽、作業靴、安全靴の確認）が不十分だった。</li> <li>■ 荷締めに関する作業手順の文書がなく、指導や確認ができていなかった。</li> <li>※ 荷締め手順が明確にできていなかった。</li> <li>■ これまでも同じ荷物の荷締めを経験しており作業指導や確認を行う意識が薄れていた。</li> <li>※ 積荷に上りの荷締めを行うことを想定できていなかった。</li> </ul>							再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安全作業に必要なチェック項目の再教育を行う。</li> <li>■ 積込・荷締めに関する作業手順書の整備を行い、積荷の上に登らずに荷締めを行えるようにする。</li> <li>※ 新規入業者への教育も視野に構築を図る。</li> <li>■ 積荷が1段の場合、1列ずつ積込・荷締めを繰り返す手順とする。</li> <li>■ 積荷が2段積となる場合、上に登らざるをえない可能性が残っており荷締め方法の再検討を続ける。</li> <li>■ 転落防止及び軽減措置を検討・試行を繰り返す。</li> <li>※ ステーションを設置する、水平チェーンを使っており固定し足場にする、緩衝材を荷締め場所に設置する、エアバック式ベストを装着する、など</li> </ul>